

## 第27回くずう原人まつり



8月23日・24日の両日、嘉多山公園において、今年27回目を迎える「くずう原人まつり」が開催されました。

23日にはご当地アイドル「とちおとめ25」のパフォーマンスや実行委員による火おこし点火式が行われ、夜には佐野聡さんを招き「プレミアムサテンアイト」が行われました。

また24日には「灼熱のサンシャインライブ」で、地元の児童・生徒が歌や踊りが披露したり、「原人チャレンジパーク」で、弓矢と丸太切り、火おこしのタイムトライアルが行われ、出場者の白熱した戦いに観客から大きな拍手が送られました。

## 救急救命活動で表彰されました



9月4日、米山保育園の保育士2人に消防本部消防長から表彰状が贈呈されました。

ふたりは6月30日、近くの工事現場で倒れ心肺停止状態になった男性に対し、救急車が来るまでの約10分間にAEDを使って心肺蘇生と救急救命処置を実施しました。

男性はその後病院に搬送され、7月20日には自ら歩いて退院されました。男性の処置を引き継いだドクターは「ふたりが行った初期の処置が有効だった」と話していたそうです。

ふたりは「今年受けた講習の内容を思い出しながら、とにかく必死に処置しました。男性が退院したと聞いた時は、ホッとしました。今後もこうした時に対応できるようにしたい」と話していました。

## 救急フェアを開催



9月7日、イオンモール佐野新都市で、市消防本部主催の「救急フェア」が開催されました。

救急フェアは、9月9日の「救急の日」にちなみ開催されているもので、今年も消防本部職員と女性消防団員により、AEDの使い方や心肺蘇生法、異物除去の方法などが、受講を希望した買い物客らに説明されました。

会場にはAEDや心肺蘇生などの練習用の人形のほか、子ども用の消防服やホースなども用意され、消防服に身を包んだ子どもたちは誇らしげにポーズをとっていました。

## さのまるナンバーを交付中

9月1日から、市で交付する原動機付自転車等の標識として、「さのまる」をデザインしたさのまるナンバーを交付しています。



交付セレモニーでナンバー「1」を手にした皆さん

さのまるナンバーはその種別ごとに、白色・黄色・桃色・水色・緑色に分かれており、新しく交付を受ける方はもちろん、現在、従来のナンバープレートの交付を受けている方にも無料交換で交付します。交付窓口は市民税課（東仮庁舎事務棟2階）、田沼・葛生の総合窓口課、または各支所で手続きできます。

ぜひ、さのまるナンバーを付けて、安全運転で走ってください。■問合せ＝市民税課 ☎(20)3007



## キャンペーンスタッフコンテスト



左から順に「わたらせ」の神田華奈さん、「ひでさと」の高久千慧さん、「かたくり」の島田梨紗さん

9月6日、イオンモール佐野新都市でキャンペーンスタッフコンテストが開催されました。

コンテストには全16人が参加。浴衣に身を包んだ参加者たちは、藤波観光協会会長など5人の審査員と観客を前に、自分の特徴や佐野市の素晴らしさをPRしました。

一般客50人の投票と、審査員の審査の結果、写真の3人が選ばれました。

選ばれた3人には今後2年間、佐野市の観光PRのお手伝いをさせていただきます。

## 第10回佐野市民体育祭を開催

8月31日、9月7日、9月14日の3日間にわたり開催されました。

球技の部・陸上の部を合わせた総合結果は、優勝が赤見支部、第2位に城北支部、第3位に植野支部の結果となりました。



## 第21回三轟山大文字焼き



8月23日、「三轟山大文字焼き」が行われました。

昨年度まで地元有志の方々により、8月15日に行われていましたが、今年度から新たに三轟山大文字焼き実行委員会により、ボランティアの集まりやすい土曜日に日を改め、開催されました。

午後7時、点火の合図とともに、三轟山の西斜面に縦約80m、横約60mの「大」の字がゆっくりと浮かび上がりました。

大文字焼きは準備・当日の運営や撤収作業をボランティアにご協力いただいています。来年もぜひご協力をお願いします。

## いじめゼロさのまるサミット

8月26日、田沼中央公民館に各小中学生の代表と教員、保護者と「さのまる」が集まり開催されました。



このサミットは「いじめ撲滅」のために行われ、いじめについての各中学校区の取り組みが発表されたほか、その解決策が話し合われ、いじめ撲滅のため以下の3点が宣言されました。

- ・わたしたちは誰とでも笑顔であいさつし仲間外れを許しません
- ・わたしたちはいじめを見つけたら身近な人にすぐに相談します
- ・大人は子どもたちの心を受けとめ、認め合う地域をつくり、子どもを守ります

宣言を採択したのち、子どもたちは「これが終わりではなく、今日からがスタートです。いじめをなくすため日々の生活で取り組みましょう」と会場に呼びかけました。

